

予算決算委員会民生教育分科会会議録

招 集

令和3年5月17日（月） 本会議休憩中 議場

出席委員（8名）

（分科会長）国 頭 靖 （副分科会長）伊 藤 ひろえ
石 橋 佳 枝 岩 崎 康 朗 岡 田 啓 介 門 脇 一 男
土 光 均 矢 田 貝 香 織

欠席委員（0名）

説明のため出席した者

伊澤副市長

【福祉保健部】大橋部長

[健康対策課] 岩坂健康長寿担当課長補佐 後藤健康長寿担当係長

【こども未来局】景山参事兼局長

[子育て支援課] 金川課長 井上子育て支援担当課長補佐

出席した事務局職員

松下局長 土井次長 佐藤議事調査担当係長

傍 聴 者

安達議員 稲田議員 今城議員 岡村議員 奥岩議員 尾沢議員 田村議員 戸田議員
西川議員 前原議員 又野議員 三鴨議員 矢倉議員 渡辺議員
報道関係者5人 一般2人

審査事件

議案第52号 令和3年度米子市一般会計補正予算（補正第2回）のうち当分科会所管部分

~~~~~

### 午前10時17分 開会

○国頭分科会長 予算決算委員会民生教育分科会を開会いたします。

先ほどの本会議で予算決算委員会に付託された議案のうち、当分科会の審査担当とされました議案1件について審査いたします。

議案第52号、令和3年度米子市一般会計補正予算（補正第2回）のうち、福祉保健部所管部分を議題といたします。

当局の説明を求めます。

金川子育て支援課長。

○金川子育て支援課長 議案第52号、令和3年度米子市一般会計補正予算（補正第2回）のうち、福祉保健部が所管する部分につきまして、歳出予算の概要を御説明いたします。

まず、予算説明資料として配付しております歳出予算の事業の概要を御用意ください。こちらでございます。表紙をめくっていただきまして、1ページの上の段の子育て世帯への商品券給付事業について、1, 235万1, 000円を計上しております。これは、新

型コロナウイルス感染症の影響を受けておられる住民税非課税世帯等の子育て世帯を支援するため、市内の生活関連サービスの小売店や飲食店等で使用できる米子市発行の商品券を配布するものでございます。

次に、同じく1ページの下段のフレイル予防・健康づくり推進事業について、1,255万3,000円を計上しております。これは、市民にフレイル予防を啓発するとともに、市民のフレイル度や健康づくりの課題を把握するため、多くの市民が集まる新型コロナワクチン接種の集団接種会場を利用して、フレイルチェック及び健康づくりに関するアンケートを実施するものでございます。説明につきましては以上でございます。

**○国頭分科会長** 当局の説明は終わりました。

委員の皆様からの御意見を求めます。

石橋委員。

**○石橋委員** 上の子育て世帯への商品券の給付事業ですけども、対象のところで、1番はよしとしまして、2番の場合、いつも周知を徹底するよというのを思うわけですけど、対象が18才以下の子どもを育てておられる世帯ということで、これは学校を通しての連絡、周知ということは考えられないですか。

**○国頭分科会長** 金川課長。

**○金川子育て支援課長** 今回の事業の周知の方法でございますが、前回同様に市のホームページ、SNS、ダラズFM、広報よなごなど、広報媒体による周知に加えまして、ふれあいの里にございます総合相談窓口、あるいは生活にお困りの方に対する福祉保健部をはじめとしました市窓口における各種の相談、そういったところにおいて、該当する方に対して御案内をするように職員への周知徹底を図っているところでございます。なかなか申請、補足するというのが難しい部分もございますが、可能な限りいろんな、あらゆる方法を通じて周知を図っていききたいというふうに考えております。

**○国頭分科会長** 石橋委員。

**○石橋委員** せっかくの制度ですので、本当に活用したいと思うんですけど、個別の通知でなくていいので、学校を通して案内チラシみたいなものを配布ってということは本当に考えられないでしょうか。

**○国頭分科会長** 金川課長。

**○金川子育て支援課長** どの程度の世帯が今回該当するかということがございますけれども、前回につきましては、窓口で直接申請をいただいた方は約30件弱ということでございました。今回、令和2年度からのコロナウイルスの影響が長期化をしておりますので、基本的には令和2年度の収入での判断ということになりますので、令和3年度については所得のほうの判断で該当してくるということはあると思いますが、なかなか学校でということになりますと、個々の世帯の状況等を子どもさんが果たしてどの程度把握されているかということもございますので、その辺はちょっと、効果を見ながら考えていききたいなというふうに考えております。

**○国頭分科会長** 石橋委員。

**○石橋委員** 個別の状態が分からなくても、一般的にこういう場合はこうですよというお知らせでもいいと思うんですけど、ぜひ検討ください。

すみません、もう1点聞いていいですか。

○国頭分科会長 続いて、はい。

○石橋委員 下のほうのフレイル予防のほうですけど、ワクチン接種が始まりまして、いろいろ、なかなか電話が届かないとか、コールセンターにつながらないとか、ちょっと今その状況は楽になってきたかなとは思いますが、個人の医院でもなかなか受けてもらえないとか、常にそこに通っておられる患者さんじゃなかったらなかなか取ってもらえないとか、いろんな問題があって、その中で本当に自分のワクチン接種がいつまでにできるんだろうとか、いろんな不安をもちとられる方があるんですね。ワクチンの効果もあるけど、でもまだよく分からないから怖いというふうに思ってる方もあって、ちょっとその辺でちゅうちょされている方もあるんですね。フレイル予防についてのアンケートっていうのも、ちょうどその機会ではありますけれど、やはりワクチン接種に来られた方には、ワクチンの米子市の取組状況とか、7月末で高齢者の2回目の接種が終わるようにワクチンの数量が確保してあるというふうに、この間、福祉保健部長に伺ったところですけど、そこら辺もみんながよく分かるように、市民がよく分かるように、またそのワクチンの効果についてなども、ちゃんとその機会にもう一度、そこに接種に来られている人ではありますけど、やはりきちんと話をするっていうことが要るんじゃないかなというふうに思うんですけど。

○国頭分科会長 大橋福祉保健部長。

○大橋福祉保健部長 ただいまの御質問は、ワクチン接種のスケジュールなど広報の、皆さん方への安心の届け方の問題だと思いますけれども、それにつきましては、本格的接種が始まったこともありまして、これから安心が行き渡るような広報を計画的に実行しようと思っています。テレビやラジオや様々な媒体を使って、我が米子市においては、どなたさんも7月末までには確実に受けられる体制が組んでありますよ、ということも広報しますし、またワクチンの社会的意義なども広報していきたいと思っています。それで、現場においてワクチンの効果をどうのこうの言ったら、それを希望して来られている方にそれをするのは少し筋が違ってるか、あまり意味のあることではありませんけれども、ここで私たちがフレイル対策事業としての広報をやろうとしているのは、この1年近くにわたって大方の人、多くの年寄りの方がなかなか家から出られないという中で、社会的関係をロストしたり、もしくは運動を避けたりしてフレイルの状態になりつつあるっていうことを皆さん方に警告するのを主目的としております。そこでまた改めて、当然そこではコロナワクチンの接種をやっているわけですから、それを当然御理解いただいているものとして、むしろフレイルになってませんかということを中心に広報したいと思っています。また、たかだか15分の時間しかありませんので、あれやこれや詰め合わせという形ではなかなかうまくいかないで、そこのところは一般的な広報で御理解いただいて、ワクチンの接種のところでは、あくまでもフレイル対策ということで御理解いただきたいと思っています。以上です。

○国頭分科会長 よろしいですか。

石橋委員。

○石橋委員 一言だけ。広報のほうで広めていただくということと、せつかく高齢者の人が、出にくい人もかなり都合をつけて出てくる、ワクチン接種のときはそうだと思いますので、それは有効に生かしてください。以上です。

○国頭分科会長 伊藤委員。

○伊藤委員 一言だけ、要望も兼ねて言わせていただきたいと思います。フレイル予防・健康づくり推進事業は、とてもいいアイデアだなと思いました。今まで届かなかったところも届いて、フレイル予防ということがさらに推進できるのではないかなと思って、とてもいいと思っています。ただ、医院での接種の方も、個人病院での接種の方もいらっしゃるので、そこら辺のところは、そこにも届くように何か工夫していただければいいなと思っているんですけども。まあ、医院での接種のところ、待ち時間が多分あると思うので、そこでアンケートでもいいですし、置かせていただくことがちょっと難しいならば、QRコードで何か読み取っていただくっていうようなものをちょっと掲示させていただくとか、何かそういうようにして。フレイル予防、私とても期待しておりますので、そこで意識を持っていただいて、そこに参加していただいて改善につながるっていうようなことも、できたらしていただきたいなと思います。要望です。

○国頭分科会長 ほかにありませんか。

岡田委員。

○岡田委員 フレイル対策、私もいいことだと思います。ただこれ、健康対策課のほうでされるようなんですけども、先ほどいろんな方から要望もあってということで、なかなか電話が繋がらないとかってということもあったということですけども、初めてのことで、当局のほうも一生懸命されているんだろうと思うんです。要は、ワクチン接種だとか、いわゆるコロナの対応の担当課が、またこういったことをされて、人員的にはどんなものなんですか。かなり仕事量が増えているという話は聞いているんですけども、そのあたりの補強といいますか、人員体制のほうはきちっとできた上で臨んでおられるということでしょうか。

○国頭分科会長 伊澤副市長。

○伊澤副市長 コロナ接種に係る人員体制のお話であります。これは本当に喫緊の課題でありまして、先ほど大橋部長のほうからもお答えしたとおり、まずは65歳以上の方を7月末までにしっかりやり遂げるということが当面の目標になっております。そのための人員体制につきましては、既存の健康対策課の人員だけでは到底足りませんので、現在、全庁体制で人員を供給するというので応援部隊を入れておりますし、これからもその状況に応じて、必要な都度、全庁から人員を捻出して応援部隊を投入してまいりたいと、このように考えております。以上です。

○国頭分科会長 岡田委員。

○岡田委員 国のほうもいろいろと大変な状況で、うまく政策ができてないということもあって、かなり国会のほうでも非難を浴びたりということもあるんですけども、本当に、コロナとの闘いということで、極端な言い方をするとコロナとの戦争というような感じになってきています。なってきたというか、もうなってますんで、そういう状況下、要は非常事態だということで、担当課のほうもきちっと人員体制を組んでいただかないと、やはり働いている方も、医療機関の方も当然大変だろうというふうに思いますし、現に大変なんですけれど、やっぱり今の担当課の方、相当残業等も増えているんじゃないかということも聞いておりますんで、ぜひ、こういう新しいこと、当然フレイル対策をしていくことはいいことだと思ってますんで、そのためのきちとした体制を取っていただきたい

ように要望しておきたいというふうに思います。

**○国頭分科会長** ほかにありませんか。

土光委員。

**○土光委員** まず最初は、子育て世帯への商品券給付事業に関して。この対象者が、資料で①、②とあって、②に関して、令和3年度中の収入が減少することが見込まれ、これってこれからのことですよ。これ、どうやって判断するのですか。判断基準というか。

**○国頭分科会長** 金川課長。

**○金川子育て支援課長** まず、1番のほうは自動的に判定をされるというところなんです。2番につきましてはコロナウイルスの影響が今回長引いてはありますが、現時点で出てきた場合に、その旨の申し出をいただいて、その状況に応じて判断をしていくというものでございます。

**○国頭分科会長** 土光委員。

**○土光委員** つまり、住民税非課税になる収入というのは、ある意味で客観的に決まっていると思うんですが、今の状況、収入、これからの見通しを申請者の方から聞いて、それで判断する、そういったやり方をするということですか。

**○国頭分科会長** 金川課長。

**○金川子育て支援課長** 実際、失業、あるいは自営業のほうがうまくいかないとか、そういった状況で収入が途絶えたりといったことが想定をされますので、そういったところを判断させていただくというものでございます。

**○国頭分科会長** 土光委員。

**○土光委員** これの判定に関して、何か客観的な証明が要るとか。割と煩雑になるということはないのですか。割ともう臨機応変にやっていくという考えということなんですか。

**○国頭分科会長** 井上子育て支援課子育て支援担当課長補佐。

**○井上子育て支援課子育て支援担当課長補佐** 基本的には、所得・給与明細等を提示、まずさせていただくということと、もしそういったものがございませんようでしたら、簡易な申立書というものを用意しておきまして、そちらのほうに理由等記入をいただいて、提出をさせていただいて、申請をお願いするというところでございます。

**○国頭分科会長** 土光委員。

**○土光委員** 分かりました。それから、フレイル予防に関してです。内容で、それぞれ内訳の金額書いていますけど、2つ目でチェックシート及びアンケート等の作成、結果通知送付等事務費、これで400万。まずチェックシート、こういったものかとか、こういったアンケート内容か。もう決まったものがあって、これは事務費でそれを作成、例えば印刷したりとか、それから送付したりとか、そういった事務費が400万ということですか。

**○国頭分科会長** 岩坂健康対策課健康長寿担当課長補佐。

**○岩坂健康対策課健康長寿担当課長補佐** フレイルチェックにつきましては、基本チェックリストを使用して実施をします。アンケートにつきましては、健康対策課内で協議をして作ったものをアンケートとして実施する形で計画をしております。

**○国頭分科会長** 土光委員。

**○土光委員** つまり、アンケート内容、こういった質問するかというのは、改めて担当課でいろいろ議論して決める、そういったことも含めてやるということでしょうか。

○国頭分科会長 岩坂担当課長補佐。

○岩坂健康対策課健康長寿担当課長補佐 健康対策課内で協議をして、アンケートについては実施をしていきます。

○国頭分科会長 土光委員。

○土光委員 分かりました。それから3つ目の判定及びデータ管理料700万ということで、チェックシートの内容とかアンケートの内容、これは委託ですよ。だから、そういったチェックシートの回答、アンケートの回答で、フレイルの判定を専門家に委託することですか。それと、データ管理業務というのは何ですか。

○国頭分科会長 大橋部長。

○大橋福祉保健部長 フレイルチェックの仕事のスキームは、このチェックシートを用いて、それからスコアリングをして判定するわけですが、その判定にアスターIIというソフトウェアを使っています、そのフレイル判定をするための委託料が700万でございます。300円ぐらいの単価で数万件、2万件ぐらいの金額になっております。

○国頭分科会長 土光委員。

○土光委員 判定というのは、多分フレイルの何か段階があって、あなたは今こういう段階ですよということだと思っておりますが、これ分かっただけでは、そこで止まっても駄目ですよ。それを見て、どう個人が活用というか、つまり結果の活用に関しては、利用というか活用というか、それはどういうふうにならざるということですか。

○国頭分科会長 大橋部長。

○大橋福祉保健部長 結果については、ノーマル、プレフレイル、フレイルと3段階になるんですけども、それを一回お客様のほうに、回答をくださった方に郵便でお返しをします。その後、うちの地域保健担当保健師のほうで、作られたリストに基づいて個別訪問をするのを基本的な形で想定はしております。医療・保健的介入を後日行うということにしております。

○国頭分科会長 土光委員。

○土光委員 分かりました。それから、この2つの事業は、両方とも財源というか、新型コロナウイルス感染症対応地域創生臨時交付金を使うということで、国からこの交付金に来て、今回合計2,400万ぐらい使う。今の段階で、米子市はあとのどのくらい交付金は使えるのですか。要は、どのくらい残っているというか、その辺のところはどんなんでしょうか。

○国頭分科会長 伊澤副市長。

○伊澤副市長 正確な数字というのはちょっと今手元にありませんけど、概算で申し上げますと、あと1億円ちょっとぐらい残があるように確か記憶しております。ただ、既に実施したものでまだ予算化していないもの、例えば下水の料金の減免とか、そういったようなもので、今後財源が必要なものもまだありますので、そんなにたくさん余っているわけではないということでもあります。まあ、ほぼ臨時交付金については執行のめどがついているという形で御理解いただければと思っております。したがって、今回御提案しているものにつきましても、その内容に応じて臨時交付金を活用するものと、それからそれ以外の財源が必要だということで、経済対策を中心に財政調整基金を取り崩させていただいて、財源充当するとともに仕分をして予算化しているというのは、そういうことに伴うも

のであります。以上です。

**○国頭分科会長** 矢田貝委員。

**○矢田貝委員** 私も土光委員のフレイル予防・健康づくり推進事業について、関連して要望をさせていただきたいというふうに思います。事業名どおり、このアンケート等を実施された後のその結果の分析と生かし方のほうが大事なことになるというふうに考えておりまして。今後、健康対策課の地域保健師が回る材料にというふうにおっしゃいましたけれども、ものすごくケースが多く出てくると思いますし、また②のほうの事業概要のほうでいきますと、若い方にもこの健康づくりに関するアンケートも実施されていくということで、今後、地域の中でどのように健康づくりを推進していくのかというふうな、公民館とか中学校区とか、総合相談の体制の中で生かしていくというような分析ができるようになっていくのかというところの確認と、そうでないのであれば、ぜひ今後そのように生かしていただきたいと思っております。もし回答いただければ、お願いいたします。

**○国頭分科会長** 大橋部長。

**○大橋福祉保健部長** ただいま矢田貝委員がおっしゃったように、この分析の結果は健康増進計画、または、まだこれから作成するんですけども、フレイル対策計画の中に生かされていくというふうな段取りとしております。

**○国頭分科会長** よろしいですか。ほかにありませんか。

〔「なし」と声あり〕

**○国頭分科会長** ないようですので、予算決算委員会民生教育分科会を暫時休憩いたします。

**午前 10 時 39 分 休憩**

**午前 10 時 40 分 再開**

**○国頭分科会長** 予算決算委員会民生教育分科会を再開いたします。

分科会長報告のための意見の取りまとめを行います。

意見がございましたら、発言をお願いいたします。

〔「なし」と声あり〕

**○国頭分科会長** それでは、特になかった旨、報告させていただきます。

以上で、予算決算委員会民生教育分科会を閉会いたします。

**午前 10 時 40 分 閉会**

米子市議会委員会条例第 29 条第 1 項の規定により署名する。

予算決算委員会民生教育分科会長 国 頭 靖